

平成29年度 学校法人玉名白梅学園 決算監査報告書

- 1) 日 時 平成30年5月14日(月) 午前10時から
- 2) 場 所 玉名女子高 応接室
- 3) 監査対象 平成29年度決算に係る事項
- 4) 監査期間 平成29年4月～平成30年3月
- 5) 監査内容 貸借対照表・収支計算書(資金収支、事業活動収支)
備品台帳・総勘定元帳・会計伝票・預金通帳等
- 6) 監査方法 学園側より事務長、会計担当者から概況説明
監事より聞き取り、決算書類の監査を行う
- 7) 監査結果 帳票・関係書類及び証票類など、正確、明瞭に記録されており、また現金、
預金管理についても、正確であることを認める。

- 8) 所 感 平成29年度は、南コンピューター室の入れ替え、中校舎一階の改修では
UD(ユニバーサルデザイン)の多目的トイレ設置などの整備が行われ、
熊本地震の影響が残る中でも堅実な経営が行われている。
財政面では国や熊本県の補助金等もあり、全体としての経費の支出も的確
に執行されており、堅実な経営である。
特筆すべきは平成29年度の新規入学生が160人だったのに対し、平成
30年度は219人と近年にない実績を積んだことだ。平成30年度は決
算監査報告の対象としては次年度になるが、あえてここで紹介するのは、
少子化で生徒数の減少が予想される中、学校を挙げての取り組みが功を奏
したものと考えからだ。工夫を重ねて今後ともこの勢いを持続させても
らいたい。
玉名市からの助成が平成29年度で終了した。玉名女子高が玉名において
果たしている役割は小さくはなく、他校とも協力しながら今後とも玉名市
当局に助成の復活を働きかけてほしい。助成金の多寡ではなく、玉名女子
高という存在と活動に対する関心を高める意味がある。

平成30年5月18日

高峰 武

村上 弘